

放射線情報システム (RIS)

依頼医からの検査依頼情報は病院情報システム(HIS)から送信され、放射線情報システム(RIS)で受け取ります。RISにより検査受付し、撮影装置(CT、MRIなど)に患者情報や撮影情報を登録して検査を行い、検査終了後に撮影装置からの情報を受け取ります。

検査後撮影された大量の画像等のデータは医療画像管理システム(PACS)に保存され、その時点から検査画像は外来診察室や病棟の医師のもとにある電子カルテから画像ビューアで瞬時に参照でき、スムーズな診療の役に立ちます。また会計情報も検査終了後に送られ、医事会計に反映されます。

放射線診断医によって読影された画像診断レポートは画像にリンクして所見管理システムに保存され、撮影された画像とともに常時参照が可能となり、医療の質の向上に役立っています。

放射線治療では治療に必要な情報の一元管理を行い、治療計画から照射業務までサポートしています。

放射線情報システム (RIS) **【ShadeQuest/RIS/work】**
医療画像管理システム (PACS) **【ShadeQuest/Serv/ViewR/ViewC】**
放射線治療情報システム (TRIS) **【ShadeQuest/TheraRIS/ViewRT】**
所見管理システム (Report) **【ShadeQuest/Report】**